



佐野 まちなか 再発見



戦災を免れた佐野の中心部には、江戸時代から昭和に至る各時代の建築様式を取り入れた建物が現存し、街並みの博物館となっています。このマップを片手に、佐野のまちなかの面白いものを歩いて発見しましょう。

まちなかの商店に見られる建築様式

見世蔵



江戸時代からの商店建築様式のひとつで、土蔵造りであるが、用途は倉庫ではなく店。妻入りではなく、通りに面した桁方向が開口部となっている。周辺からの飛び火を防ぐ役割もあった。

出(だし)げた(げ)桁



町家の伝統を引き継ぐ建築様式で、梁を差し出して出桁で野の垂木を支える構造。軒の立派さが商店の格を示していた。構造的に優れているため、明治以降民家や商家に採用された。

看板建築



平坦な建物前面の壁をモルタルや銅板で仕上げ、装飾をつけるのが特徴。壁に施された多様なデザインが、看板のように各商店の個性となっている。大正末期から広まった。



1 太田邸
江戸時代末期に建てられた黒漆喰壁の旧店舗。市の文化財に指定されている。



2 大坂屋
和菓子屋として使われている見世蔵造りの建物。



3 小沼呉服店
明治21年建築の呉服店。昭和26年に一部改修されている。



4 旧土佐屋薬局
隣地との間にはうだつと呼ばれる防火壁（財力の象徴）がある。明治3年築。



5 江戸街道沿いの街並み
保存・活用された見世蔵が軒を連ね、歴史を感じさせる街並みが形成されている。



6 寺岡邸（旧労働金庫）
糸問屋として建てられた大規模な商家。最近まで労働金庫の店舗として使われていた。昭和3年築。



7 殿町通りの商家
殿町通りの北には、出桁造りの商家が連なる。



8 三木商店
大正時代に流行した看板建築の典型的な姿がとどめられている。大正10年頃建築。



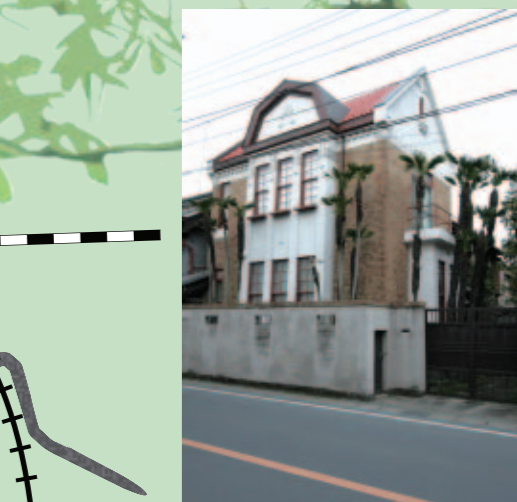
9 伊勢屋
旧50号に面した菓子屋。通りには様々な時代の建築様式の建物が現存している。



14 角半会館
コンクリート打ち放しの中華料理店。



10 影澤医院
ベランダ・車寄せがあり、寄棟瓦葺き、下見板張りの典型的な明治期洋風建築。明治44年築。



11 小島邸
昭和初期の豪商の洋館建築。窓の上部や妻壁の飾りが美しい。



12 日本基督教団佐野教会
昭和9年建築。その後、入口部分の屋根は改修されている。設計は栃木県庁などを手がけた早大教授佐藤功一。文化庁登録有形文化財。



13 NTTビル
モダニズム建築の流れを汲むNTTビル。RC造で直線の構成を持つ立方体を特徴とする。